

教科	体育
<b>主体的・対話的で深い学びの授業改善に向けたポイント</b>	
<p>(1) <b>主体的な学びに向けて</b> 運動の楽しさや健康の意義等に気付き、運動や健康についての興味や関心を高め、課題の解決に向けて自ら粘り強く取り組み、それを考察するとともに学習を振り返り、課題を修正したり新たな課題を設定したりする。</p> <p>(2) <b>対話的な学びに向けて</b> 運動や健康についての課題の解決に向けて、児童が他者（書物等を含む）との対話を通して、自己の思考を広げたり深めたりする。（課題の解決を目指して、協働的な学習に取り組む。）</p> <p>(3) <b>深い学びに向けて</b> (1)や(2)の学びの過程を通して、自己の運動や健康についての課題を見付け、解決に向けて試行錯誤を重ねながら、思考を深め、よりよく解決する。</p> <p>(4) <b>主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善の推進</b> 以下の学習が展開される中で、着実な習得を促す学習が展開され、主体的・能動的な活用・探究の学習を展開することができると考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 指導方法を工夫して必要な知識及び技能の習得を図る。</li> <li>○ 子どもたちの思考を深めるために発言を促したり、気付いていない視点を提示したりする。</li> <li>○ 学びに必要な指導の在り方を追究し、必要な学習環境を積極的に設定していく。</li> </ul>	

教科	保健体育
<b>主体的・対話的で深い学びの授業改善に向けたポイント</b>	
<p>次の視点等を踏まえて授業改善を行うことにより、育成を目指す資質・能力を育んだり、体育や保健体育の見方・考え方を更に豊かなものにしたりすることにつなげることが大切である。</p> <p>(1) <b>主体的な学びに向けて</b> 運動の楽しさや健康の意義等を発見し、運動や健康についての興味や関心を高め、課題の解決に向けて粘り強く自ら取り組み、学習を振り返るとともにそれを考察し、課題を修正したり新たな課題を設定したりする。</p> <p>(2) <b>対話的な学びに向けて</b> 運動や健康についての課題の解決に向けて、生徒が他者（書物等を含む）との対話を通して、自己の思考を広げ深め、課題の解決を目指して学習に取り組む。</p> <p>(3) <b>深い学びに向けて</b> 習得・活用・探究という学びの過程を通して、自他の運動や健康についての課題を発見し、解決に向けて試行錯誤を重ねながら、思考を深め、よりよく解決する。 ※ これら三つの学びの過程をそれぞれ独立して取り上げるのではなく、相互に関連を図り、保健体育科で求められる学びを一層充実することが重要である。また、これら三つの学びの過程は、順序性や階層性を示すものではないことにも留意する。</p> <p>(4) <b>主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善の推進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 生徒の思考を深めるための発言を促したり、気付いていない視点を提示したりするなど、学びに必要な指導の在り方を探究し、生徒の学習状況を捉えて指導を改善していく。</li> <li>② 指導事項の精選を図ったり、運動のポイントを明確にしたり、ICTを効果的に活用したりするなどして、体を動かす機会を適切に確保する。</li> </ul>	

# 「深い学び」を具現する授業デザイン例 保健体育

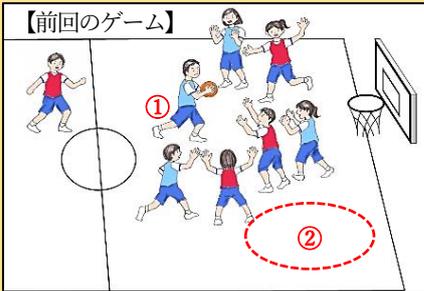
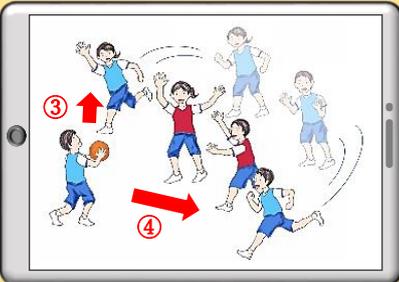
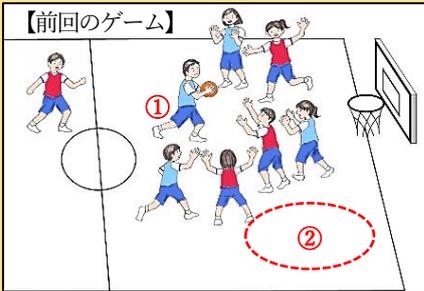
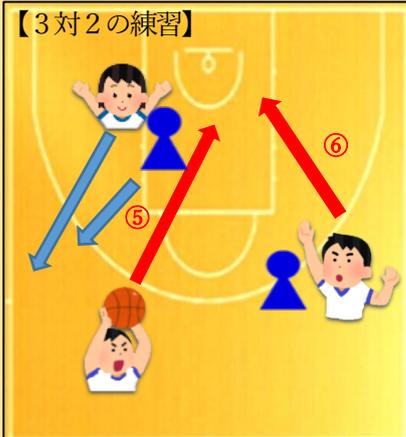
## 学習指導要領における領域・内容

中学校 [第1・2学年] 体育分野 E 球技 ア ゴール型 (バスケットボール)

- (1) ゴール型では、ボール操作と空間に走り込むなどの動きによってゴール前での攻防をすること。
- (2) 攻防などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。

## 本時のねらい

バスケットボールのゲーム映像から自己や仲間の課題を見付ける活動を通して、自己の意見を伝えたり仲間の意見を聞いたりして課題解決に向けた練習の方法を工夫することができる。

授業デザイン例	学習者の視点	授業者の視点
<p>みんな、ボールのあるところに集まっているね。①</p> <p>コートの中に、空いているスペースがあったよ。②</p> <p>ボールを持たない味方がパスをもらえる位置に動けないかな?</p>  <p>3対2で攻める側の人数を優位にして練習したらどうかな?</p> <p>いいね! ゲームに近い状況で動きを試してみようよ。</p> <p>動画を撮影し、自分たちの動きを見てみたらもっと分かりやすいよね。</p> <p>ほら、ボールを持っていない味方が空いているスペースに動くときパスが繋がったよ! ③ ④</p> 	<p>【前回のゲーム】</p>  <p>3対2で攻める側の人数を優位にして練習したらどうかな?</p> <p>いいね! ゲームに近い状況で動きを試してみようよ。</p> <p>動画を撮影し、自分たちの動きを見てみたらもっと分かりやすいよね。</p> <p>ほら、ボールを持っていない味方が空いているスペースに動くときパスが繋がったよ! ③ ④</p>	<p>前回の授業でバスケットボールのゲームをしましたね。ゲームの映像を見て、何か気付いたことはありましたか?</p> <p>なるほど! 空いているスペースやボールを持っていない味方の動きに気付いたのでですね。</p> <p>気付いたことを改善するために、チームでどんな練習ができますか?</p> <p style="text-align: right;"><b>視点N</b></p>
<p>本当だ! ボールを持っていない味方の動きが大事だね。</p> <p>もっとシュートができる所までボールを運ぶためにはどんな方法があるだろう?</p> <p>お互いにもっと声をかけ合うことができると、周囲も見えてパスがつながるね。</p> <p style="text-align: center;"><b>視点⑥</b></p> <p>味方とタイミングを合わせてゴール前に走り込めば、ディフェンスされる前にシュートを狙えそうだよ。⑤→⑥</p> <p>なるほど! 場面を想定して、また練習で試してみようよ。さっきの動きが使いえそうだし、みんなの考えも整理して練習してみよう。</p> 	<p>【3対2の練習】</p> 	<p>みんなで気が付いた課題をチームで練習したことで、空いているスペースに動いてパスをつなぐことができましたね。</p> <p>自己やチームの動きを振り返って、さらにできそうなことはありますか?</p> <p>新たに発見した課題の解決に向けて、さらにチームで練習をしてみましょう。</p>

## 本時における「深い学び」を具現する仕掛けや発問

- ゲームや練習の映像から課題を発見し、習得した知識や技能が活用できることに気付いて取り組むことで合理的な解決につなげていく。自己の課題の発見や合理的な解決に向けて考えたり、他者に分かりやすく伝えたりすることを通して、生徒が自己の思考を広げたり深めたりできるようにする。(視点N→視点⑥)